

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

第3期 管理職養成学校ニュース



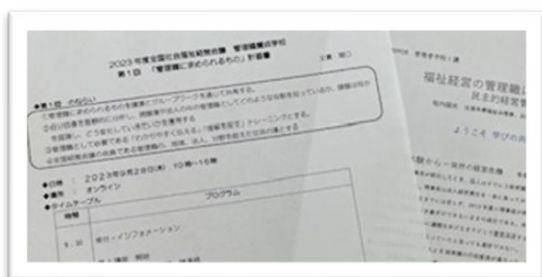
2023年10月16日発行 (No.2) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

～いよいよ第1講座スタート～

開校式から1か月、いよいよ第1講座です。まだまだ緊張気味の受講生の皆さん、養成学校の定番ともなったアイスブレイクからスタートしました。

アイスブレイクでは、ご当地のお土産やグルメ紹介をしてもらいました。さすが東は宮城、西は鹿児島からの集まりです、訪問したくなるようなご当地ものをそれぞれ紹介してもらいました。



そして緊張もほぐれたところで、今日の1日の確認です。第1講座のねらい①管理職に求められるものを講演とグループワークを通じて共有する②自分自身を客観的に分析し、現職場や法人の中の管理職としてどのような役割を担っているか、課題は何かを認識し、どう変化していきたいかを獲得する③管理職として必要である「わかりやすく伝える」「理解を促す」トレーニングとする④全国経営会議の会員である管理職の、地域、

法人、分野を超えた交流の場とする、この4つのねらいを確認してプレゼンテーションへとうつりました。

zoomのチャットで映りだされた、本日のプレゼンテーションの順番。自分の順番を探し、困った表情や笑顔の方、様々なリアクションをされていました。1番の方は画面越しにも緊張が伝わってくるほどの表情でプレゼンがスタートしました。

プレゼンテーションのテーマは「管理職としての私を語る」です。管理職としての役割は何か、自分の弱みや強みはどういったところか、そしてどんな管理職が求められるのかを3分で語ります。プレゼンテーションをする前に学校事務局から「プレゼンは目線できまる」という書を読むのを推奨させてもらっていましたが、たくさんの方がその本の書かれていることを参考にし、3分という限られた時間の枠で、管理者は「調整力が必要」「仕事を振れない管理者は、組織の力も引き出せない」「プライベートもしっかり遊ぶ！そんな姿が管理者だと見てもらいたい」「人と人との相互理解をすすめたい」「管理者1人ではできない、主任と手をつなぎ、船を動かしていきたい」そういった内容を語りつくしてくれました。聞いている学校事務局もステキなプレゼンテーションの多さに圧巻でした。講師の垣内氏からは、管理職としての人生のストーリーが聞け、「これからがんばるぞ」というストーリーに感動した。管理者は苦しいことも悲しいことも、すぐに解決できない「保留」を抱えながら生きていかなければならないが、管理者が喜んでいると職員が喜ぶ、そんな姿を見ていると管理者の醍醐味を感じるので頑張っていってほしい、と激励をもらいました。



午後からは、ゼミの進捗状況を報告してもらった後、「福祉経営の管理に求められること～民主的経営管理試論～」というテーマで、講師の垣内国光先生の講義がありました。垣内先生は、現在社会福祉法人多摩福祉会の理事であり、数カ月前までは理事長を務めておられ、理事長になった当時の法人の経営危機についてのお話を皮切りに、自ら体験したことを交えながらお話ししてくれました。



社会福祉法人は誰のものなのか？…それは理事長のものでなく職員のものでもなく「みんなのもの」「地域住民のもの」と力強く語られました。社会福祉の公益性を象徴した言葉だと感じます。

「民主的経営について」や管理者のあるべき姿にも言及されました。善意と情熱に頼らず、科学的根拠をもった組織が必要で、そのために私たちは「クールヘッド&ウォームハート」で仕事をする必要性が話されました。また管理監督者に必要な能力は何か…「組織のパフォーマンスを最大化する人」「自分の頭で考える人」「提案する人、揺り動かす人」「積極的に外に出る人、出す人」「仕事を振る人」「器量のある人(姿勢)」「後継者育成ができる人」という7点を挙げられました。

講義の最後には、尾崎新氏の「揺らぐことのできる力～ゆらぎと社会福祉実践」の紹介をされ、ミッションをもち、職員に誠実であれば揺らいでもいいんだよ、という話をしてもらい、大変な管理職ではあるけど揺らぎながらでいいんだとホッとできる締めくくりとなりました。

講義全般、垣内先生の温かいお人柄と、受講生突撃トークなども取り入れ、楽しく学ぶ時間となりました。

IV. 管理監督者としての能力は獲得できる

1. 善意と情熱に頼る経営から科学的民主的経営へ
・クールヘッド&ウォームハート
2. 法人の民主的統治(ガバナンス)
・民主的統治なくして民主的経営なし
・本部実務、管理業務のポイント
3. 管理者に必要なものの見方・考え方・感情制御
・正しいか正しくないかは重要だが
・管理者が喜ぶ姿を見る
・怒りの感情を制御できないとき
・視野を広げ深く思考する

講義のあとのグループワークでは、1日の講座やこれまでの振り返りとして、プレゼンテーションがどうだったか、管理職としての役割やあるべき姿は何か、という内容で、それぞれのゼミで反省や講義で感銘を受けた点を論議しました。自分のプレゼンテーションの反省をしつつ、他の方のプレゼンを聞くことで参考になった、指を出すことなどで聞き手が聞きやすいところを参考にしたい、など今後のプレゼンについて考える機会となりました。また、垣内先生の講義を通して、管理職像についてどうあるべきかを深めることができました。

講座の最後は、第2回に向けての課題に加え、第3回と第4回の講座の説明もあり、ホッと一息つく間もなく次の講座に向けて走り出しました。半年間、ゼミ仲間とともに走っていきこうと終了後みんなで確認しあい1日を終わりました。

まだまだ続く養成学校、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

第2回講座は、10月26日(木) 講師は 養成学校の校長であり、佛教大学社会学部名誉教授の浜岡政好氏でテーマは「社会福祉法人の在り方を学ぶ」です。